



# 球磨川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

## ～流域のあらゆる関係者が協働し、まちづくりと連携した治水対策の推進～

○上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国・県・市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進することとし、令和2年7月洪水からの早期復興の観点から、可能な限り、各対策の早期完成を目指す。

【令和3年度出水期まで】可能な限りの堆積土砂の撤去及び堤防決壊箇所の本復旧と合わせて、タイムラインの改善等を緊急的に実施した。

【第一段階】堆積土砂の撤去、災害復旧工事を進めるとともに上下流バランスを考慮の上、河道掘削を最大限実施し進捗を図る。輪中堤・宅地かさ上げをまちづくり等と連携して完成させる。また、遊水地、引堤等に必要な用地確保に着手。下流部においては、河道掘削、堤防補強等を推進。県区間においては放水路整備や河道掘削等を推進。流水型ダム、市房ダム再開発の調査・検討に着手し進捗を図る。併せて、下水道施設の整備、災害危険区域・被災市街地復興推進地域の指定の検討、ハザードマップの作成等を推進する。

【第二段階】早期に遊水地を完成。河道掘削(拡幅部)(人吉地区)、引堤、県区間堤防整備、遊水地(支川)等の完成。引き続き、流水型ダム、市房ダム再開発の進捗を図る。

下流部においては、河道掘削、堤防補強等を推進。併せて、田んぼダムの普及・拡大を推進する。

【以降】下流部の堤防補強対策、流水型ダム、市房ダム再開発について、完成を図るとともに、流域治水プロジェクトの進捗に応じ、上下流バランスに配慮しながら、上流部の堤防整備・河道掘削を行う。併せて、水防災教育に関する支援や関係機関が連携した水防訓練を継続する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			第一段階(概ね5年)	第二段階(~R11)	以降(R12~)
<b>氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策</b>  <b>※【緊】</b> 河川における対策のうち、緊急治水対策プロジェクトとして位置づけている対策	河道掘削(中流部)【緊】 河道掘削(人吉地区)【緊】 河道掘削(拡幅部)(人吉地区)【緊】 引堤【緊】 輪中堤・宅地かさ上げ【緊】 遊水地整備【緊】 河道掘削、堤防補強対策(下流部) 高潮耐震対策(下流部) 堤防整備・河道掘削(人吉地区・上流部) 利水ダム等6ダムにおける事前放流等の実施(自治体、企業)【緊】	国土交通省	[進捗バー]		
	河道掘削等【緊】 御溝川放水路【緊】 堤防整備等【緊】 河道掘削・堤防整備等 輪中堤・宅地かさ上げ	熊本県 等	[進捗バー]		
	流水型ダム・市房ダム再開発【緊】	国土交通省・熊本県	[進捗バー]		
	砂防関係施設の整備	国、熊本県 等	[進捗バー]		
	下水道等の排水施設の整備	熊本県、市町村 等	[進捗バー]		
	雨水貯留・雨水浸透施設整備	国、熊本県、市町村 等	[進捗バー]		
	水田の貯留機能向上 ため池の補強・有効活用 農業水利施設の整備 等	熊本県、市町村 等	[進捗バー]		
	森林の整備・保全、治山施設の整備	国、熊本県、市町村等	[進捗バー]		
<b>被害対象を減少させるための対策</b>	まちづくりと連携した高台への居住誘導、土地利用規制・誘導・移転促進	流域市町村 等	[進捗バー]		
	二線堤、自然堤防の保全	国土交通省 等	[進捗バー]		
<b>被害の軽減、早期復旧・復興のための対策</b>	排水門等の整備や排水機場等耐水化 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備 避難を判断するための情報伝達	国土交通省 熊本県 市町村 等	[進捗バー]		
	水害リスクの周知 平時からの住民等の防災意識醸成 防災活動の着実な実施・連携体制の構築 地域と連携した排水活動及び訓練、施設運用	国土交通省 熊本県 市町村 等	[進捗バー]		
<b>グリーンインフラの取組</b>	自然再生事業 新萩原橋周辺地区かわまちづくり 坂本地区かわまちづくり 多自然川づくり 自然環境を活かした地域活動の取り組み	国土交通省 市町村 等	[進捗バー]		
			[進捗バー]		

気候変動を踏まえた  
更なる対策を推進

■河川対策 (約4,848億円)  
 ※うち、流水型ダム 約2,680億円を含む  
 ■砂防対策 (約266億円)  
 ■下水道対策 (約25億円)